

あとがき

国立大学法人鹿屋体育大学
スポーツパフォーマンス研究センター 副センター長

高橋 仁大

令和3年度のスポーツパフォーマンス研究センターの報告書をお届けいたします。ご尽力いただきました関係各所に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響から、令和3年度も従来通りの活動とはいきませんでした。国内の研究者との連携であったり、学内の活動については活気が戻りつつあります。スポーツパフォーマンス研究の推進は本学の重要なミッションの一つであり、その担い手となるスポーツパフォーマンス研究センターのスタッフの一員として、貢献を続けていきたいと考えています。

本年度のスポーツパフォーマンス研究センター協力者会議では、本センターの更なる活性化に向けて、広報活動の重要性が指摘されました。外側から本センターがどのように見られているのか、という視点を常に持ちつつ、利用者目線で利便性が高まるよう、また本センターの活動をタイムリーに情報発信できるよう、次年度の重点活動として取り組んでいきたいと思えます。

令和4年度から、本学は第四期中期目標・中期計画の期間に入ります。それに併せて、本年度までスポーツパフォーマンス研究センターを牽引していただいた前田明センター長を引き継ぎ、令和4年度からセンター長に就任することとなりました。これまで着実に積み上げてきた各種活動の継続性を保ちつつも、私なりの視点から本センターの更なる発展につながるような取り組みを創造していければと思っています。

